

JCI 中性子線を用いたコンクリートの検査・診断に関する委員会 (TC191A)
第2回委員会 議事録 (案)

日時：2019年8月20日(火) 13:30～16:30

場所：京都大学複合原子力科学研究所 図書館会議室(大阪府泉南郡熊取町)

出席者：小林委員長(岐阜大)，大竹(理研)，兼松(東京理科大)，瀬古(愛知工大)，五十嵐(東大)，石川(中研コンサル)，富井(大林組)，松沢(建築研)，氏家(愛媛大)

オブザーバー：吉村，水田(理研)

敬称略

議事：

1. 各資料の確認

- ・ 小林委員長より，第1回委員会議事録(資料2-1)について説明があり，内容について了承された。
- ・ 小林委員長より，ワーキング体制と活動計画(資料2-2)について説明があった。
 - WG1の検討項目としていた「放射線に対する安全性の検討，室内から屋外利用に向けた中性子源システム開発の課題抽出を行う。」をWG3の項目とした。
 - WG1とWG2の進捗によって，WG3の検討項目を調整する必要がある。
- ・ 小林委員長より，WGメンバーの調査結果について報告があった。WG1, 2の希望者は同程度だったため，希望通りのWGに所属することとなった。WG体制は次の通り。
WG1：大竹，久保，長谷，石川，大島，小野，金光，鈴木，富井，渡辺 10名
WG2：兼松，瀬古，五十嵐，大野，岡崎，酒井，松沢，依田 8名

2. 京都大学複合原子力科学研究所の見学

- ・ 兼松幹事より，見学の概要の説明があった。
- ・ 本施設は研究用の原子炉であり，2018(平成30)年に原子炉実験所から複合原子力科学研究所(KURNS, Institute for Integrated Radiation and Nuclear Science, Kyoto University)に改称された。
- ・ 2011年3月11日以降，日本の全ての原子炉は稼働を停止したが，本施設はずっと稼働している。
- ・ 火曜日に1メガワット，木曜日に5メガワットになるよう出力を上げている。
- ・ 実験は，火曜日から木曜日までを1回として実施する。
- ・ B4, E2ポートがイメージング用である。
- ・ 木曜日は医療照射が行われている。世界中でも桁違いに医療事例が多い。
- ・ ビームポートの利用のための申請は年2回あり，各ポート担当の先生と相談しながら，実験内容を決めている。年1回研究所レポート(A4・1枚)を提出する必要がある。

- ・ 本施設の利用について，大学院生以上の学生と教員の旅費は年 2 回程度支給される．
- ・

3. WG1 と 2 のディスカッション

- ・ 略

4. 次回の予定

長谷幹事，久保幹事が欠席のため，後日，メールにて日程調整を行うこととした．

以上